



鳳輦(芦屋神社蔵)



三角縁波文帯三神二出鏡(親王寺蔵)
(芦屋市指定文化財)

まひらく

芦屋のたからもの



流水文銅鐺(親王寺蔵)
(芦屋市指定文化財)

初公開!!
芦屋神社蔵
伝猿丸太夫木像
四半世紀ぶりに公開!!
親王寺寺宝

今に伝わる神社、
寺院の宝物



打出天神社地車水引轟(部分)
(当館寄託)

会 期	平成 29 年 4 月 1 日(土) - 5 月 21 日(日)
開館時間	午前 10 時 - 午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)
会 場	芦屋市立美術博物館 ホール、第 1 展示室、第 2 展示室、歴史資料展示室
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般 600 円(480 円)、大高生 400 円(320 円)、中学生以下無料 ※()内は 20 名以上の団体料金 ※高齢者(65 歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護の方は各当日料金の半額 ※「芦屋睦の宮詣で」(芦屋市内 6 神社のスタンプラリー)で全てのスタンプを集め、台紙をお持ちいただいた方は団体料金となります。 ※観覧無料の日: 5 月 7 日(日)、20 日(土)、21 日(日)
主 催	芦屋市立美術博物館
後 援	兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK 神戸放送局、ラジオ関西
協 力	芦屋神社、芦屋市神職会、芦屋市神社総代会、岩園天神社、打出天神社、打出総代会地車保存会、公益財団法人 芦屋仏教会館、親王寺

展示概要

古代から交通、文化の要衝として栄えた芦屋には、今も人々の崇拝を集める神社、寺院がありますが、それぞれの寺社には、歴史ある「たからもの」が大切に守り継がれてきています。

これらの今に伝わる「たからもの」のうち、このたび当館に寄託された打出天神社の地車(だんじり)の水引幕、当館収蔵の岩園天神社の絵馬をはじめ、平成 27 年に修復を終えた芦屋神社の鳳輦(ほうれん)、今回初公開となる、伝猿丸太夫木像など、神社に伝わる「たからもの」をご覧ください。

また、芦屋には中世に仏教の普及に努めた徳本上人の足跡が残されており、市内各地区には寺院が多く存在します。遺跡として伝わる芦屋廃寺は、瓦や須恵器を現代に遺すのみで謎に満ちていますが、遺物を通して、古代の寺の姿を彷彿とさせます。

さらに、親王寺の寺宝、流水文銅鐸、三角縁波文帯三神二獣鏡は、およそ四半世紀ぶりに公開されます。

芦屋に伝わる「たからもの」を通して、いにしへのロマンに想いをはせ、芦屋の伝統に触れていただくことで、このまちの魅力を改めて感じ、「たからもの」を、後世に守り伝えていく機会となれば幸いです。

主な展示品

- ・打出天神社地車水引幕（当館寄託）昭和9(1934)年
- ・岩園天神社絵馬 明治 12(1879)年ほか
- ・鳳輦（芦屋神社蔵）昭和5(1930)年
- ・伝猿丸太夫木像(芦屋神社蔵) 江戸時代
- ・八稜鏡(芦屋神社蔵) 昭和9(1934)年
- ・扁額(芦屋神社蔵) 天保4(1833)年ほか
- ・獅子・狛犬像(芦屋神社蔵) 昭和時代
- ・流水文銅鐸(親王寺蔵)＜芦屋市指定文化財＞ 宝永3(1706)年堂ノ上出土
- ・三角縁波文帯三神二獣鏡(親王寺蔵)＜芦屋市指定文化財＞ 宝永年間(1704-1710)阿保親王塚出土
- ・石製鈔帯(親王寺蔵)＜芦屋市指定文化財＞ 宝永年間(1704-1710)四ツ塚出土
- ・伊勢物語絵巻 江戸時代
- ・伊勢物語画帖 江戸時代
- ・徳本上人像 江戸時代
- ・燭台(芦屋仏教会館蔵) 昭和時代
- ・芦屋仏教会館設計図面 昭和2(1927)年頃
- ・芦屋廃寺出土軒平瓦 奈良時代

※表記のないものは当館蔵

など総展示数約 80 点

関連事業

4月1日(土)
14:00～15:00

(1) 講演会「芦屋睦の宮詣で一芦屋の神社をたずねて」

講 師:山西康司氏(芦屋神社、打出天神社宮司)
会 場:芦屋市立美術博物館 講義室
参加費:無料(ただし要観覧券)
定 員:60名

4月2日(日)
13:00～16:00
※事前申込制

(2) ウォークイベント「桜の芦屋あるき」

内 容:打出天神社、親王寺、津知日吉神社等市内寺社を巡ります。
その後、芦屋川沿いの桜並木を通り、当館にて展覧会を鑑賞いただきます。
定 員:20名
参加費:200円(保険代含む。要別途観覧券)
■申込方法:往復はがきにてお申し込みください。3月21日(火)必着。
※応募者多数の場合は抽選。
※小雨決行

4月16日(日)
14:00～15:30

(3) ホールコンサート「マリンバで彩る伝統の響き」

出 演:八重崎 渚氏 川内まり子氏 山口彩菜氏
会 場:芦屋市立美術博物館 1階ホール
定 員:100名
参加費:無料(ただし要観覧券)

5月6日(土)
14:00～15:00

(4) 講演会①「親王寺の歴史と宝物 一山口県萩市へ 毛利家文書を求めて一」
講演会②「タマムシと仏教 一美術と博物の融合一」

講 師:①阪口忠之氏(親王寺役員)／②花木宏修氏(親王寺住職)
会 場:芦屋市立美術博物館 講義室
定 員:60名
参加費:無料(ただし要観覧券)

5月7日(日)
14:00～15:30

(5) 芦屋講談「芦屋の昔話を語る」

出 演:旭堂南陵氏 他一門
会 場:芦屋市立美術博物館 講義室
定 員:60名
参加費:無料(観覧無料の日:観覧券不要)

・4月15日(土)
・4月30日(日)
・5月14日(日)
14:00～15:00

(6) ギャラリートーク

講 師:本展担当学芸員
会 場:芦屋市立美術博物館 展示室
参加費:無料(ただし要観覧券)

【(2)お申し込み方法】

往復はがきに参加希望者の氏名、年齢、住所、電話番号、「芦屋あるき参加希望」と明記のうえ、芦屋市立美術博物館までお送りください。

広報用画像

「春ひらく―芦屋のたからもの ～今に伝わる神社、寺院の宝物～」展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。
使用を希望される際は別紙の画像借用申込用紙にご記入のうえ、窓口までご連絡ください。



1



2



3



4



5



6



7

1. 三角縁波文帯三神二獸鏡
(親王寺蔵)

<芦屋市指定文化財>

宝永年間(1704-1710)

阿保親王塚出土

2. 伝猿丸太夫木像

(芦屋神社蔵)

江戸時代

3. 岩園天神社絵馬 牛若丸
鞍馬山修行之図

(芦屋市立美術博物館蔵)

明治12(1879)年

4. 打出天神社地車水引幕

(部分)(芦屋市立美術博物館寄託)

昭和9(1934)年

5. 鳳輦(芦屋神社蔵)

昭和5(1930)年

6. 燭台(芦屋仏教会館蔵)

昭和時代

7. 流水文銅鐸(親王寺蔵)

<芦屋市指定文化財>

宝永3(1706)年堂ノ上出土

お問合せ先

芦屋市立美術博物館

〒659-0052 芦屋市伊勢町12-25

<http://ashiya-museum.jp/>

企画内容に関して

学芸員:清水和彦

TEL:0797-23-2666(学芸直通)

画像貸出など広報について

担当:総務課

TEL:0797-38-5432(代表)

春ひらく一芦屋のたからもの ～今に伝わる神社、寺院の宝物～

FAX 連絡先
(0797)38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(10組 20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。

番号	資料名、年代、所蔵元など
1	三角縁波文帯三神二獣鏡（親王寺蔵）＜芦屋市指定文化財＞ 宝永年間(1704-1710)阿保親王塚出土
2	伝猿丸太夫木像（芦屋神社蔵）江戸時代
3	岩園天神社絵馬 牛若丸鞍馬山修行之図（芦屋市立美術館蔵）明治12(1879)年
4	打出天神社地車水引幕(部分)（芦屋市立美術館寄託）昭和9(1934)年
5	鳳輦（芦屋神社蔵）昭和5(1930)年
6	燭台（芦屋仏教会館蔵）昭和時代
7	流水文銅鐸（親王寺蔵）＜芦屋市指定文化財＞ 宝永3(1706)年堂ノ上出土

貴社名		
媒体名	（新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他）	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
写真到着希望日		
招待券希望枚数	組	名分希望

- ・写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
- ・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)を当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ・本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。